

9月6日、北海道では大規模な地震が発生しました。誰もが寝静まっている深夜で、驚きは尋常ではなかったと思います。また、被害の大きさが伝わるに従って震災の恐ろしさを痛感しました。みなさんの周辺では、どのような状況だったでしょうか。

とりあえず本学では甚大なダメージ等はなく、無事に後期を迎えられることとなりました。節電は必須ではありますが、普通の日常を過ごせるというのはどんなにありがたいかを感じます。

国際交流では、後期からの新たな交換留学生も迎えました。本学を選んで留学してきた学生たちにできる限り不便な思いをさせることがないように、そして有意義な留学生活を送ってもらえるよう、サポートしていきたいと思っています。



### ①日本語教育・文化体験プログラム(夏)、終了しました。

6月28日から7月28日にかけて、「日本語教育・文化体験プログラム(夏)」が開催されました。今回は、韓国・オーストラリアから総勢37名の参加がありました。

入門から上級まで3つのレベルに分かれての日本語授業が毎日行なわれ、日本語は全く初めてというプログラム生も、終了する頃にはひらがなも読め、簡単な会話もできるほどの上達ぶりが見えました。



フィールドトリップとしては積丹や小樽、美瑛、函館などを訪れ、夏の北海道を満喫するとともに、サポートとして参加している本学の学生との交流を深める非常に良い機会となりました。



慣れない土地での生活に不便もあったようですが、それ以上の良い思い出をたくさん作ってもらえたのでは、と信じています。

日本語プログラムは、本学のサポート学生にとっても、海外に目を向けるきっかけにもなっています。

## ②チェンマイ大学受入プログラム、高雄大学プログラム



7月7日から20日まではタイのチェンマイ大学より学生3名、引率2名が来学し、異文化交流プログラムを行ないました。

札幌近郊や道内への旅行を通して、日本の文化、北海道への理解を深めたようです。また、学内ではタイフードフェアを行い、タイのカレーを本学の学生にも味わってもらいました。

一方、7月1日には台湾の国立高雄大学より教員を含めて20名が来学しました。一行は8月31日まで本学に滞在し、日本語学習を中心としながら道内各地を訪ねるなどしていました。本学サポート学生と過ごす時間も多く、濃密な交流ができたようです。こちらも7月19日に「台湾デー」と称し、数種類の台湾料理を作ってふるまってくれて、好評を博しました。



## ③SGU⇒海外

夏休み期間中は本学の学生の多くも、海外プログラムに参加しました。特に韓国ではKSS(東亜大学)、東國大学サマープログラム、韓南大学韓国語研修など、のべ20名の学生が参加したことになります。また、今年初めて「グローバルインターンシップ」としてマレーシアの大学TARに2名が渡り、約3週間を過ごしました。



韓南大学にて

英語の授業を受けるだけでなく、大学内の図書館など様々な場所で「仕事」を経験したり、現地の学生

### マレーシア・グローバルインターンシップ



が受けている日本語授業に参加するなど、非常に充実した内容だったようです。来年度こうしたプログラムに参加してみたいという方は、ぜひご相談ください。

また、9月中には2月から3月にかけての海外派遣プログラム(アメリカ、オーストラリア、タイ、マレーシア)の説明会も予定しています。積極的にご参加ください。



国際交流のホームページもご覧ください！ →

<http://www.sgu.ac.jp/iec/>

